

## ウイルス学会関連研究集会紹介

## 3. 第10回ウイルス学キャンプ in 湯河原報告

藤井 健

公益財団法人東京都医学総合研究所ウイルス感染プロジェクト

平成25年5月30日と31日の2日間、ウイルス学キャンプ in 湯河原が開催され、世話人5名の他、21名の方が参加しました。本ウイルス学キャンプは平成16年度の発足から今回で第10回目を迎えることとなり、節目の年となりました。本年度は昨年度に発足した永田恭介先生を領域代表とする文部科学省科学研究費新学術領域研究「ウイルス感染現象における宿主細胞コンピテンシーの分子基盤」の第2回領域会議に引き続き行われることが決定したため、新学術領域のウイルス学以外の分野からの参加申込があり、これまでと異なった分野間の交流が生まれることが期待されました。また世話人である増田道明先生のご提案により、ベストクエスチョン賞が新たに設けられ、例年以上に議論が活性化されることが期待されました。

第1日目は3名の若手研究者による若手講演が行われました。阪大微研森田英嗣特任准教授は「ESCRT経路を介したRNAエンベロープウイルス粒子形成の分子メカニズム」についてご講演され、宿主の膜形成に関わる因子とウイルス粒子形成について詳しく説明していただきました。名古屋大学村田貴之准教授は「EBウイルスの感染様式と病態」についてご講演され、EBウイルスの病態について詳しく、ときにユーモアを交え分かり易くご説明いただきました。広島大学入江崇准教授には「センダイウイルス研究から分かること」としてセンダイウイルスの複製様式についてご講演いただきました。私個人としては森田先生と入江先生とは面識があり、また修士課程ではEBウイルスを研究対象としていた関係でどのご講演も身近に感じられ、その進展に刺激を受けました。

その後は、若手講演に引き続き、九州大学の渡辺俊平さ

ん、京都大学の山田辰太郎さん、国立感染症研究所の野村拓志さん、北海道大学の薦田圭介さん、丸山隼輝さん、京都大学の本田知之さんによる6題の一般口演が行われました。例年通り、若手を中心に質問が出され、若手同士の議論が展開され、多いに盛り上がりました。また、世話人の先生がたのご意見もあり大変勉強になりました。

第1日目のセッション終了後の夕食時にはベストクエスチョン賞の発表が行われました。栄えある最初の受賞者は北海道大学の丸山隼輝さんが選ばれました。臆することなく次々と質問を投げかけ、セッションを盛り上げてくれました。またセッション中に発言できなかった参加者の自己紹介の時間が設けられ、自己紹介した人が次の人を指名していった結果、結局全員が自己紹介を行うこととなり、よりお互いを理解でき、楽しい交流の時間となりました。この時間は集中討論と2日目の議論への布石となったのではないかと思います。

恒例の集中討論は今年も夜通しで行われました。このキャンプの重要なセッションの一つであるためか、やはり日中のセッションとは異なり、世話人、若手を問わず、参加者各々が研究への熱い思いを語り、大変盛り上がっていました。

2日目はショートプレゼンテーションによるポスター内容の紹介が行われました。ショートプレゼンテーションは2~3分という短い時間で研究の要点を分かり易く説明する場であり、プレゼンテーション能力が要求されます。ショートプレゼンテーションが終わるとポスター討論へと続きました。前日の夕食時と集中討論での研究アピールにより実際ポスターの前で、更なる熱い議論を展開することができ、演者と聴衆がお互い理解を深めることができたのではないのでしょうか。このようにして2日間のキャンプは終了しました。

今年度はやはり例年とは異なり、新学術領域内から構造生物学、数理生物学の若手の方々の参加があったことで、新しい分野間の交流が形成できたことは良い点であったと思います。次回以降もこのような交流を継続し、且つ深めることができればと思います。またベストクエスチョン賞も議論の更なる活性化をもたらしていました。このように

## 連絡先

〒156-8506

東京都世田谷区上北沢2-1-6

公益財団法人東京都医学総合研究所ゲノム医科学研究分野ウイルス感染プロジェクト

TEL &amp; FAX: 03-5316-3224

E-mail: fujii-ken@igakuken.or.jp

第10回目にふさわしく内容も濃く、盛り上がったウイルス学キャンプであったと思います。第1回から中心となりこのウイルス学キャンプを運営している小池先生は10回目を迎えたことに関して、「いつの間にか10回目だった。このキャンプを通して次世代を担う若手が育ってくれば」との感想でした。

お陰様で、皆様のご協力により記念すべき第10回目を

無事終えることができました。事務局一同感謝申し上げます。もしウイルス学キャンプにご興味がありましたら、日本ウイルス学会ホームページのウイルス学キャンプのページ (<http://jsv.umin.jp/camp/camp.html>) をご覧いただき、是非とも来年の第11回目に足を運んでいただけるようお願い申し上げます。

